

セブン
7A
私たちの
スローガン
です

Adolescent 思春期保健の推進
Abortion 安全な人工妊娠中絶
Access どこでも誰もがサービスを受けられる
Advocacy 啓発・提言活動
AIDS STI及びHIV/エイズの予防
Ageing 高齢化社会対策
Abuse 児童虐待の防止

家族と健康

Reproductive Health

一般社団法人
JFPA 日本家族計画協会

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1-34-14 宝ビル7F
電話03(6407)8971 FAX03(6407)8972 <https://www.jfpa.or.jp>

発行人：三橋 裕行 編集人：青田 陽

【保存版】2024年10月~2025年9月発行分

今号のページ

- インタビュー
性暴力から被害者を守るために
知っておきたいこと 2面
(上) 加害者臨床
- インタビュー
性暴力から被害者を守るために
知っておきたいこと 3面
(下) 防止・解決のカギ
- 2024年10~12月の
ニュース・トピックス 4~10面
- 2025年1~9月の
ニュース・トピックス 10~13面
- 職域保健の現場から⑥~⑫ 14~15面
- はたがや日和 16~19面
~JFPA相談室へようこそ~
- 令和7年度健やか親子21
全国大会(母子保健家族計画
全国大会)被表彰者 20面



原田 省氏

当日は、選考委員会
員ならびに過去の受賞者
のうち故人を除く30名を
推薦人として、推薦され
た候補者の功績調書をも
とに、厳正な審査が行わ
れ、現鳥取大学学長であ
る原田省(たすく)氏(67
歳)の受賞が決まった。
これで受賞者数は41名。
内訳は医師38名、看護職
3名となった。

選考委員会は、木下勝
之(日本産婦人科医学会)、
小西郁生(日本産科婦人
科学会)、吉村泰典(日本
生殖医学会)、高松潔(日
本女性医学学会)、勝部ま
ゆみ(ジョイセフ)、北村
邦夫(本会) (敬称略)
から構成されている。

原田氏は、1958年
に兵庫県で生まれ、83年
に鳥取大学医学部医学科
を卒業。卒業後、同大学
医学部附属病院産科婦人
科に入局。85年には英国
リーズ大学に留学し体外
受精技術を学んだ。帰国
後89年に鳥取大学医学部
助手、93年講師、200
7年准教授、08年に教授
に就任。その後、12年に
医学部附属病院副院長
長、17年に副学長および
医学部附属病院院長、23年
には理事・副学長を歴
任。25年4月1日から
は、鳥取大学の学長とし
て4年間の任期を務めら
れる。

原田氏の専門分野は産
婦人科学および生殖医学
で、特に子宮内膜症の研
究において世界的に注目
されている。子宮内膜症
の増殖・進展機構の解明
と新たな分子標的治療の
開発に取り組み、子宮
内膜症の細胞増殖に炎症
反応が関与していること
を明らかにされた。我が
国における、子宮内膜症
と月経困難症の治療薬開
発に医学専門家として参
画され、ルナベル、ディ
ナゲスト、ルナベルUL
D、ヤーズフレックス、
ジェミーナ、レルミナ、
アリッサの臨床応用に貢
献。また、11年には鳥取
大学医学部附属病院に新
設された低侵襲外科セン
ター長に就任し、診療科
の壁を越えた横断的な診
療体制を構築。このセン
ターでは、ロボット手術
を核とした先進医療を推
進し、19年6月にはロボ
ット手術の症例数が10
00件を突破。25年3月
現在で約3500件に達
している。さらに、病院
長として医学部附属病院
の経営改善にも尽力さ
れ、広報活動を強化して

部門間の連携を促進し、
チーム医療を推進され
た。事務部門と医療現場
のコミュニケーションを
改善し、経営効率の向上
に寄与されている。

日本産科婦人科学会理
事、日本生殖医学会常務
理事、日本産科婦人科内
視鏡学会副理事長、日本
受精着床学会理事、日本
内分分泌学会代議員、米国
内分分泌学会会員、米国生
殖医学会会員、Asian
Society of
Endometriosis and
Adenomyosis
President、World
Endometriosis Society
Board Member、
Society of
Endometriosis and
Uterine Disorder Board
Member、日本エンドメ
トリオシス学会理事長
など、国内外の学会で重
要な役割を務められた。

原田氏の座右の銘は
「置かれた場所で咲きな
さい」であり、与えられ
た環境で最善を尽くす姿
勢を大切にされている。
25年4月からの学長就任
により、これまでの豊富
な経験と専門知識を活か
し、鳥取大学のさらなる
発展に寄与されることが
期待されている。

以上、原田氏の女性の
セクシユアル・リプロダ
クティブ・ヘルス/ライ
フの向上に関する幅広い
功績は由緒ある松本賞に
値するものと評価され、
今回の受賞に至ったもの
である。

第29回 松本賞

原田省氏(鳥根県)に受賞決定

子宮内膜症の研究などSRHRの 向上に関する幅広い功績

日本家族計画協会の故松本清一元会長の名を冠した顕彰制度
で、わが国におけるリプロダクティブ・ヘルスの分野において
活躍している第一人者に対し、その功績を讃えて贈呈する「松
本賞」。その第29回選考委員会が3月28日に開催された。

Every Child a Wanted Child

JFPA 一般社団法人
日本家族計画協会

(2025年4月15日掲載)

インタビュー

性暴力から被害者を守るために
知っておきたいこと 下 防止・解決のカギ

一つめの解決のカギ
法律・制度の改正

この瞬間にも日本のどこかで性犯罪が起きています。一市民も合わせざるを得なくなりつつある、というのが現実です。これを解決するには、まず、社会の中にある前提と変わっている価値観を変えていかないと、おそろく、多くの日本人が自覚していません。根強い価値観を変えるのに一番強力な方法は法律や制度の改正です(例えば、2023年7月の刑法改正など)。これらが変わると考えられています。ですが、行政も警察も裁判所が、日本は被害に遭った

おそろく、多くの日本人が自覚していません。根強い価値観を変えるのに一番強力な方法は法律や制度の改正です(例えば、2023年7月の刑法改正など)。これらが変わると考えられています。ですが、行政も警察も裁判所が、日本は被害に遭った

おそろく、多くの日本人が自覚していません。根強い価値観を変えるのに一番強力な方法は法律や制度の改正です(例えば、2023年7月の刑法改正など)。これらが変わると考えられています。ですが、行政も警察も裁判所が、日本は被害に遭った

二つめの解決のカギ
包括的性教育

そして、法律・制度へのアプローチだけでなく、もう一つ、包括的性教育を幼少期から行っていく、というのもこれからの大事なポイントになってきます。基本的な性的同意、性行同意年齢、からだの権利、プライバシーゾーン、性的自己決定権、こういった知識に幼い時から触れていくことで、自分の身体が大事なものであることを認識し、成長するにつれ外の世界との間に境界線が出来上が

そして、法律・制度へのアプローチだけでなく、もう一つ、包括的性教育を幼少期から行っていく、というのもこれからの大事なポイントになってきます。基本的な性的同意、性行同意年齢、からだの権利、プライバシーゾーン、性的自己決定権、こういった知識に幼い時から触れていくことで、自分の身体が大事なものであることを認識し、成長するにつれ外の世界との間に境界線が出来上が

「スマホを持つときには」

この瞬間にも日本のどこかで性犯罪が起きています。一市民も合わせざるを得なくなりつつある、というのが現実です。これを解決するには、まず、社会の中にある前提と変わっている価値観を変えていかないと、おそろく、多くの日本人が自覚していません。根強い価値観を変えるのに一番強力な方法は法律や制度の改正です(例えば、2023年7月の刑法改正など)。これらが変わると考えられています。ですが、行政も警察も裁判所が、日本は被害に遭った

おそろく、多くの日本人が自覚していません。根強い価値観を変えるのに一番強力な方法は法律や制度の改正です(例えば、2023年7月の刑法改正など)。これらが変わると考えられています。ですが、行政も警察も裁判所が、日本は被害に遭った

おそろく、多くの日本人が自覚していません。根強い価値観を変えるのに一番強力な方法は法律や制度の改正です(例えば、2023年7月の刑法改正など)。これらが変わると考えられています。ですが、行政も警察も裁判所が、日本は被害に遭った

二つめの解決のカギ
包括的性教育

そして、法律・制度へのアプローチだけでなく、もう一つ、包括的性教育を幼少期から行っていく、というのもこれからの大事なポイントになってきます。基本的な性的同意、性行同意年齢、からだの権利、プライバシーゾーン、性的自己決定権、こういった知識に幼い時から触れていくことで、自分の身体が大事なものであることを認識し、成長するにつれ外の世界との間に境界線が出来上が

そして、法律・制度へのアプローチだけでなく、もう一つ、包括的性教育を幼少期から行っていく、というのもこれからの大事なポイントになってきます。基本的な性的同意、性行同意年齢、からだの権利、プライバシーゾーン、性的自己決定権、こういった知識に幼い時から触れていくことで、自分の身体が大事なものであることを認識し、成長するにつれ外の世界との間に境界線が出来上が

そして、法律・制度へのアプローチだけでなく、もう一つ、包括的性教育を幼少期から行っていく、というのもこれからの大事なポイントになってきます。基本的な性的同意、性行同意年齢、からだの権利、プライバシーゾーン、性的自己決定権、こういった知識に幼い時から触れていくことで、自分の身体が大事なものであることを認識し、成長するにつれ外の世界との間に境界線が出来上が

防ぐのかというの、現実世界で研究されているところですが、例えば私が関わっている少年事件のケースを見てみると、初犯に至るまでに、実は加害行為などをかなりの回数繰り返していたという事実が気になります。加害行為を繰り返しているうちに、潜在的な加害者の最初に行う加害行為をどうやって止めるか、ということがとても大事になります。少年事件に関わっていると、加害行為をした少年たちは、性的同意や性的自己決定権といった性教育のキーワードをどれくらい知っているか、知

筆者プロフィール 齊藤 章佳 (さいとう・あきよし)
西川口榎本クリニック副院長(精神保健福祉士/社会福祉士)
1979年滋賀県生まれ。大学卒業後、わが国最大規模といわれる依存症施設である榎本クリニックにソーシャルワーカーとして、20年以上に渡りアルコール依存症を中心にギャンブル・薬物・摂食障害・性犯罪・児童虐待・DV・クレプトマニアなどさまざまなアディクション臨床に横断的に携わる。その後、2024年10月から現職。
専門は加害者臨床で現在まで3,000名以上の性犯罪加害者の治療に関わり、性犯罪加害者の家族支援も含めた包括的な地域トリートメントに関する実践・研究・啓発活動に取り組んでいる。また、都内更生保護施設では長年「酒害・薬害教育プログラム」の講師を務めている。小中学校では薬物乱用防止教育をはじめ、大学でも早期の依存症教育に積極的に関わっており、全国での講演も含めその活動は幅広くマスコミでも度々取り上げられている。東京都痴漢被害実態把握調査委員、一般社団法人痴漢抑止活動センターアドバイザーなど。
【著書】
「性依存症の治療」金剛出版。2014(共著)
「性依存症のリアル」金剛出版。2015(共著)
「男が痴漢になる理由」イースト・プレス。2017
「万引き依存症」イースト・プレス。2018
「小児性愛という病ーそれは、愛ではないー」ブックマン社。2019
「しくじらない飲み方ー酒に逃げずに生きるには」集英社。2020
「セックス依存症」幻冬舎新書。2020
「行為依存と刑事弁護」日本加除出版。2021(共著)
「盗撮をやめられない男たち」扶桑社。2021
「行為プロセス依存症の診断・治療と再発防止プログラム作成の手引き」診断と治療社。2022(共著)
「50歳からの性教育」河出書房新社。2023(共著)
「男尊女卑依存症社会」垂紀書房。2023
「子どもへの性加害ー性的グルーミングとは何か」幻冬舎新書。2023
「つながりを、取り戻す。」ブックマン社。2023(共著)
「性暴力の加害者となった君よ、すぐに許されると思うなかれ」ブックマン社。2024(共著)
監修に漫画「セックス依存症になりました。」(津島隆太作集英社。2020)

なめることがリスクであることも教えないといけません。私たちが成長の過程で経験していることですが、親と秘密をつくることと親と距離をとり自立していくという側面はあります。それまでは親が全部知っている状態だったのに、ちょっと世界が広がって、外での秘密が増えていくことで、親との物理的・心理的距離がとれる状態になっていくのですが、ただ、秘密にしたいものと秘密にしたい方がいるものがあるというところは、必ず伝えておいたほうがいいですよ。
(2024年12月1日掲載)

また、性的グルーミングは概念から教えておく必要があります。認識をするための枠組みがないと、子どもたちは自分がされていることを性的グルーミングだと思わないことがあるためです。ただただ優しい人、話を聞いてくれる人を装って、加害者は性的意図を隠しながら子どもたちに人気のオンラインツールを通じて近づいてきます。顔は知らないけれど、年上の友達になってくれる人、受験の相談に乗ってくれる人、勉強を教えてくれる人など、加害者は子どもたちの承認欲求を巧みにくすぐって近づいてきます。そのため、SNSやゲームアプリを使う際には、知らない人とつ

この歴史的な性加害事件は23年3月に英BBCが報じて話題になりましたが、中でも最もインパクトがあったのは「グルーミング」という言葉でした。メディアを通じてこの言葉が知られるようになり、もう一つは、男の子も性被害に遭うことが現実に起こるということがようやくよく知られるようになりました。私に関わる加害者臨床の現場でも、加害当事者から過去に性被害の経験があったというのを、ニュースを見て初めて認識できるようになったというケースがありました。

性被害を受けても声を上げられずに時効を迎えてしまつと、もう刑事事件として扱えなくなるのが現状ですが、時効を撤廃することで、被害者の権利を守っていくことができると考えています。

今後は、未成年時に経験した性被害については、控訴時効を撤廃していくのがワニズアクションが達成するゴールの一つだと考えていると聞いています。現在の法律では、性被害を受けても声を上げられずに時効を迎えてしまつと、もう刑事事件として扱えなくなるのが現状ですが、時効を撤廃することで、被害者の権利を守っていくことができると考えています。

コラム

2024年4月6日、旧ジャニーズ事務所での性被害を受けた当事者で結成する「ワニズアクション」が、先日都内でキックオフイベントを開催しました。被害者支援、加害者臨床、包括的性教育を3本柱として掲げられています。被害者支援、加害者臨床ももちろん大事ですが、それ以前の包括的性教育も重要という視点です。この3つがうまく調和することによって、子どもたちを加害者にも被害者にも傍観者にもしないことを目指します。

この歴史的な性加害事件は23年3月に英BBCが報じて話題になりましたが、中でも最もインパクトがあったのは「グルーミング」という言葉でした。メディアを通じてこの言葉が知られるようになり、もう一つは、男の子も性被害に遭うことが現実に起こるということがようやくよく知られるようになりました。私に関わる加害者臨床の現場でも、加害当事者から過去に性被害の経験があったというのを、ニュースを見て初めて認識できるようになったというケースがありました。

性被害を受けても声を上げられずに時効を迎えてしまつと、もう刑事事件として扱えなくなるのが現状ですが、時効を撤廃することで、被害者の権利を守っていくことができると考えています。

今後は、未成年時に経験した性被害については、控訴時効を撤廃していくのがワニズアクションが達成するゴールの一つだと考えていると聞いています。現在の法律では、性被害を受けても声を上げられずに時効を迎えてしまつと、もう刑事事件として扱えなくなるのが現状ですが、時効を撤廃することで、被害者の権利を守っていくことができると考えています。

実感しています。

「DVや性暴力の悩み、受け止めてくれる人がきつ」と11月12～25日 女性に対する暴力をなくす運動

政府は、女性に対する暴力の予防と根絶に向けて、毎年11月12～25日の2週間、「女性に対する暴力をなくす運動」を実施している。

今年度は「DVや性暴力の悩み、受け止めてくれる人がきつ」というメッセージと共にDVや性暴力・性暴力の相談窓口の周知を図る。

■性犯罪・性暴力相談窓口
性犯罪被害者
DV相談ナビ #8008 (はれれば) DV相談プラス

■その他の相談窓口
https://www.gender.go.jp/policy/no-violence/vaw/consult.html

厚生労働省は、12月1日の世界エイズデーに向けて「U=U 知ることから、もう一度。12月1日は世界エイズデー」

日時：令和6(2024)年11月29日(金)19:00～21:30(予定)

出演者：押尾コータロ、海保知里、純烈、白阪琢磨、武藤小麟(AKB48)、ゆづりやみ、レモンさん(山本シュウ)

参加費：無料(抽選による) ※随時、告知サイトにて出演者情報を更新予定

結核が世界的な感染症による死因のトップに

10月29日、世界保健機関(WHO)は、結核に関する新たな報告書を公表した。2023年に新たに結核と診断された患者数は、約820万人に上った。

WHO 10月29日、世界保健機関(WHO)は、結核に関する新たな報告書を公表した。

また、結核関連の死者数は2022年の132万人から2023年には125万人に減少したが、結核を発生した人の

総数は2023年には推定1,080万人と、わずかに増加していることが報告されている。

また、結核関連の死者数は2022年の132万人から2023年には125万人に減少したが、結核を発生した人の

総数は2023年には推定1,080万人と、わずかに増加していることが報告されている。

また、結核関連の死者数は2022年の132万人から2023年には125万人に減少したが、結核を発生した人の

認知症へのステイグマ(差別・偏見)を計る質問票作成

国立長寿医療研究センター

国立長寿医療研究センターのグループは、人々の認知症に対する差別や偏見(認知症ステイグマ)を評価する質問票(26項目)とその短縮版

(12項目)を開発した。この質問票は、「認知症の人へ、大切な伝統を継いでいる」「もし私が認知症だったら、落ち込むだろう」などの項目

目からなり、地域住民らの認知症に対するステイグマの程度を把握することができると期待されています。

国立長寿医療研究センター(2024年11月14日掲載)

国立長寿医療研究センター(2024年11月14日掲載)

2050年には5世帯に1世帯が65歳以上の単独世帯に

国立社会保障・人口問題研究所は、11月12日に、「日本の世帯数の将来推計(都道府県別推計)」を公表した。

この推計は、世帯の家族構成別(「単独」「夫婦のみ」「夫婦と子」「ひとり親と子」)

2040年には半数以上の都道府県で平均世帯人員が2人を下回る単独世帯の世帯数は増加から減少へ転じる都道府県が増えるが、単独世帯の割合はすべて

2050年には、半数近い都道府県で50%以上の世帯が、世帯主が65歳以上の世帯。3分の2の都道府県で、5

脳卒中・心臓病等の初期症状「すぐに救急車」は76.5%

内閣府世論調査 初期症状が現れてから救急車を呼ぶまでの時間は「すぐに救急車を呼ぶ」が76.5%で最多。

「脳卒中や心臓病等に関する世論調査」の概要

「FAST」または「ACT FAST」顔(Face)：片側が下がって動かない腕(Arm)：片側の腕に力が入らない言葉(Speech)：呂律が回らない、言葉が出ない、他人の言うことが理解できない

「日本の子宮頸がん予防の未来に向かって」セミナーの動画を配信

日本産科婦人科学会は、期間終了に向けて「接合の間隔の留意点」長阪一憲(子宮頸がん検診・HPVワクチン普及推進委員会委員、帝京大学)

森定徹(HPV検査単独法による子宮頸がん検診の管理に関する小委員会委員長、杏林大学)

齊藤英子(HPV検査単独法による子宮頸がん検診の管理に関する小委員会委員、国際医療福祉大学三田病院予防医学センター)

生活習慣をすぐに改善しようと思わない理由として「病気の自覚症状がないから」が52.3%が最多。

予防のために普段の生活で心がけていることは「野菜をたくさん食べるようにしている」が54.7%と最も多く意識されている。

国立長寿医療研究センター(2024年11月14日掲載)



国立長寿医療研究センター(2024年11月14日掲載)

国立長寿医療研究センター(2024年11月14日掲載)

国立長寿医療研究センター(2024年11月14日掲載)

国立長寿医療研究センター(2024年11月14日掲載)

国立長寿医療研究センター(2024年11月14日掲載)

国立長寿医療研究センター(2024年11月14日掲載)

国立長寿医療研究センター(2024年11月14日掲載)

大雨災害を受けて被災地での妊産婦、乳幼児に対して適切な支援を行うよう通達

こども家庭庁

10月13日、スポーツ庁は、令和5年度体力・運動能力調査を公表し11月8日からの大雨による災害を受けてこども家庭庁は、関係団体や医療機関に対し事務連絡を出している。

また、今後、避難所等の生活が予想されることから、避難所にて十分に配慮された適切な支援を行うためのポイント、注意点を示している。



詳しい情報は「コチラ」

- 妊婦健康診査等の各種母子保健サービスの取扱いについて
- 災害により被災した妊産婦及び乳幼児等に対する支援のポイントについて
- 災害時の母子保健対策に関するマニュアル等について(情報提供)

令和6年11月8日からの大雨による災害の被災者に係る妊婦健康診査等の各種母子保健サービスの取扱い等について(こども家庭庁 2024年11月20日掲載)

第8回労働安全衛生法に基づく一般健康診断の検査項目等に関する検討会議事録公開

厚生労働省

厚生労働省は10月18日に行われた第8回労働安全衛生法に基づく一般健康診断の検査項目等に関する検討会議の議事録を公開した。



第8回検討会では中間とりまとめ案の各項目について下記の意見交換がされた。

●女性特有の健康課題に関する項目について

- 急速に進む高齢化の中、職業生活が長期化してきていることともに、女性の就業率の増加に伴って、女性特有の健康課題への対応の重要性が一層高まっている

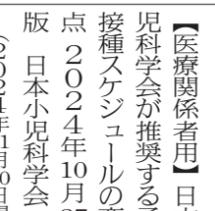
ことにより一般健康診断の機会を活用し、女性労働者本人への気づきを促し、必要な場合には、産婦人科医等専門医への早期受診、また、女性特有の健康課題に対する配慮について申し出を行いやすい職場づくりにもつながるよう、一般健康診断診票に女性特有の健康課題(月経困難症、月経前症候群、更年期障害等)に係る質問を追加することが適

「日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール」改訂

日本小児科学会

日本小児科学会は「日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール」を10月27日に改訂した。変更点は下記の通り

- 肺炎球菌ワクチンの「日本小児科学会の考え方」を追記。
- ロタウイルスワクチンの注意事項の記載を更新。
- 3種混合、不活化ポリオの定期接種対象時期の表記を一部修正。
- 3種混合ワクチンについて「日本小児科学会



詳しい情報は「コチラ」

の考え方」を追記。

- 日本脳炎の注意事項について、厚生労働省の引用URLを最新のものに更新。
- 経鼻弱毒生インフルエンザワクチンの項を追加。
- 上記に伴いインフルエンザワクチン予防接種チェック表を変更。
- 新型コロナウイルスワクチンに関する記載を更新。予防接種チェック表を作成。

就業上の措置等のエビデンスが乏しいことを踏まえると、問診を含め、労働安全衛生法に基づく一般健康診断に歯科健診を追加することは困難。

歯科に関する項目について

歯周病については、平時からの歯のブラッシングを促し、必要な場合には、産婦人科医等専門医への早期受診、また、女性特有の健康課題に対する配慮について申し出を行いやすい職場づくりにもつながるよう、一般健康診断診票に女性特有の健康課題(月経困難症、月経前症候群、更年期障害等)に係る質問を追加することが適

当。

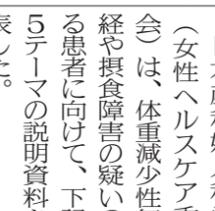
- 労働者のプライバシーに配慮するために、個人が特定されやすい場合は、集計情報を提供しないことが必要。

一方、歯周病と全身疾患との関連が示唆されていることから、口腔内の健康を保つことの意義があると考えられる。現在、「事業場における労働者の健康保持増進のための指針」に「歯と口の健康づくりに向けた口腔保健指導」が盛り込まれているが、今後、好事例を展開する等、普及啓発を強化することにより、歯科受診につながる方策を検討するこ

11月は「薬剤耐性(AMR)対策推進月間」

厚生労働省

厚生労働省は11月を「薬剤耐性(AMR)対策推進月間」として、日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュールの変更点 2024年10月27日 日本小児科学会 (2024年11月20日掲載)



詳しい情報は「コチラ」

「薬剤耐性(AMR)対策推進月間」として、日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュールの変更点 2024年10月27日 日本小児科学会 (2024年11月20日掲載)

食習慣を改善するつもりはない 男性8割女性6割

国民健康・栄養調査

厚生労働省

厚生労働省は、11月25日に令和5年「国民健康・栄養調査」の結果を公表した。

概要は以下の通り。

●身体状況

- 男性の20歳以上の肥満者(BMI≧25)の割合は31.5%、女性の割合は18.5%
- 肥満者もやせの割合は男性4.4%、女性9.1%
- 20歳以上の野菜摂取量の平均値は9.8gであり、男性10.7g、女性9.1gである。この10年間でみると、男女とも有意な増減はみられない。
- 女性に2011年からみると肥満者もやせの割合も有意な増減はない。

●栄養・食生活に関する状況

- 20歳以上の野菜摂取量の平均値は256.0gであり、男性では直近10年間で有意に減少、女性では2015年以降有意に減少。
- 年齢階級別にみると、野菜摂取量は男女ともに20歳代で最も少なく、年齢階級が高い層で多くなっている。
- 食塩摂取量の平均値は9.8gであり、男性10.7g、女性9.1gである。この10年間でみると、男女とも有意な増減はみられない。
- 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を毎日1日2回以上摂っている者の割合は、男性

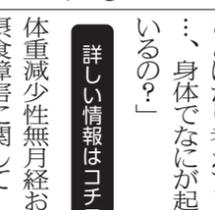
体重減少性無月経および摂食障害に関して5つの資料を作成

日本産科婦人科学会

日本産科婦人科学会が起きているの？」

「女性ヘルスケア委員会は、体重減少性無月経や摂食障害の疑いのある患者に向けて、下記の5テーマの説明資料を公表した。

- 妊娠・出産への影響
- 体重減少性無月経とは
- 摂食障害(摂食症)とは
- 「一日中食事や体重のことばかり考えてしまう」
- 「身体でなにが起きているの？」



詳しい情報は「コチラ」

「体重が落ちて月経が止まった」、妊娠・出産に悩まされた、身体でなにが起きているのか？」

「体重減少性無月経とは」

「摂食障害(摂食症)とは」

「一日中食事や体重のことばかり考えてしまう」

「身体でなにが起きているの？」

休養がとれている者の割合は74.9%であり、2009年からの推移でみると有意に減少している。

●飲酒・喫煙に関する状況

- 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合は、男性14.1%、女性9.5%である。
- この10年間でみると、リスクを高める飲酒は男性では有意な増減はなく、女性では有意に増加している。
- 年齢階級別にみると、リスクを高める飲酒の割合は男性では40歳代、女性では50歳代が最も高い。
- 現在習慣的に喫煙している者の割合は15.7%であり、男性25.6%、女性6.9%。直近10年間で男女とも有意に減少。
- 受動喫煙の機会を有する者の割合は、2009年、2012年、2016年、2023年の推移でみると有意に減少している。
- 地域をつながらに異なる状況
- 居住する地域の人々が「お互いに助け合っている」と思う者の割合は41.5%であり、2011年、2015年、2019年、2023年の推移でみると、有意に減少。

●栄養・食生活に関する状況

- 20歳以上の野菜摂取量の平均値は256.0gであり、男性では直近10年間で有意に減少、女性では2015年以降有意に減少。
- 年齢階級別にみると、野菜摂取量は男女ともに20歳代で最も少なく、年齢階級が高い層で多くなっている。
- 食塩摂取量の平均値は9.8gであり、男性10.7g、女性9.1gである。この10年間でみると、男女とも有意な増減はみられない。
- 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を毎日1日2回以上摂っている者の割合は、男性

●将来への影響

- 「月経が来ないだけじゃない...、将来の骨粗しょう症にも影響？」
- 「摂食障害(摂食症)とは」
- 「一日中食事や体重のことばかり考えてしまう」
- 「身体でなにが起きているの？」

詳しい情報は「コチラ」

令和5年「国民健康・栄養調査」の結果 厚生労働省 (2024年11月28日掲載)

世界の糖尿病患者が 過去数十年で4倍、 未治療の人々も3.5倍

WHO

NCD Risk Factor (LMICs) は最も大きな増加を経験し、糖尿病の罹患率が急上昇する(WHO)の支援を受け、一方で、治療へのアクセスは依然として低いままである。この傾向は世界的に平等を招いている。2022年には、30歳以上の約4億5,000万人の患者(全成人糖尿病患者の約59%)が治療を受けておらず、未治療の人々の数は8億人を超え、1990年以來4倍以上に増加していると報告している。

この研究では、成人の世界的な糖尿病有病率が1990年から2022年の間に7%から14%に上昇。特に低・中所得国

になる。これらの未治療の成人の90%はLMICsで生活している。WHOは、急増する糖尿病の負担に対処するため、11月13日に、糖尿病に関する新たな国際的なフレームワークの枠組みを開始した。この試みは、糖尿病の予防、ケア、アウトカム、影響の測定と評価について、各国に包括的なガイダンスを提供する重要なステップであると説明している。

詳細は「チラシ」

Urgent action needed as global diabetes cases increase four-fold over past decades WHO (2024年12月2日掲載)

2023年のはしかの 症例数は世界で1,030万件 予防接種率の向上が課題

WHO

世界保健機関(WHO)と米疾病管理予防センター(CDC)の推計によると、2023年のはしかの症例数は世界で1,030万件で、2022年から20%増加。世界的に十分な予防接種率が、症例の急増を後押ししていると報告している。

はしかは、ワクチンを2回接種することで予防可能。しかし、2023年には2,200万人以上の子どもが、はしかワクチンの初回接種を受け

厚手のユニフォームを着用する 運動部は熱中症対策を重点的に

国立環境研究所気候変動適応センター

国立環境研究所気候変動適応センターは、11月19日に国内の中学校・高校における運動部の活動が熱中症の発生リスクに与える影響を公表した。

研究によると熱中症発生のリスクを減らすためには、暑さ指数(WBGT)、部活動の種類、時期、地域、活動場所に応じた対策が重要であることが明らかになった。

詳細は「チラシ」

(1)熱中症が発生しやすい具体的には、
(2)4月から6月までの期
(3)比較的涼しい地域(北海道、東北、北陸、または夏季平均WBGTが18℃以下の地域)
(4)屋外活動
(5)涼しい時期から急に暑

部活動(野球、ソフトボール、サッカー、フットサル、テニス、陸上競技、弓道、その他)の着用するユニフォーム(厚手のもの)

かなり暑熱馴化が不十分な場合、熱中症が発生しやすい。同時に、上記に挙げた状況においても、活動の是非を判断するための暑熱基準を引き下げる熱中症対策が有効である。

また、大会前で練習を積み重ねないといけない時期など、暑熱基準を引き下げて対応できない場合は、活動前(例:冷水・アイススラッリーの摂

取)・中(例:水掛け、アイスベットの着用)・後(例:冷水浴)といった身体冷却、屋外練習から屋内練習への切り替え、比較的涼しい日への練習の集約、暑熱馴化期間の導入の対策の組み合わせを積極的に講じるべきとまとめている。

詳細は「チラシ」

運動部活動における状況に応じた熱中症対策の重要性―暑さ指数(WBGT)、部活動の種類、時期、地域、活動場所を考慮して―国立環境研究所気候変動適応センター (2024年12月2日掲載)

30代以下の若い世代で半数 近くが「歯の痛み」「歯の違和感」「口臭」のトラブル

日本歯科医師会

公益社団法人日本歯科医師会は、11月22日に「歯科医療に関する一般生活者意識調査」の結果を公表した。

これは全国の15歳～79歳の男女10,000人を対象に実施した意識調査である。2005年からほぼ隔年で実施しており今回で10回目になる。結果の概要は以下の通り。

詳細は「チラシ」

●日常生活への影響
歯や口の中のトラブルは、「集中心」「生活の質」「コミュニケーション」など日常生活全般に影響

●口腔トラブルによるフレズンティズム(※)の実態
全体の約4割が歯や口の中のトラブルでパフォーマンス低下を実感、トラブルTOP3は「歯の痛み」「歯の違和感」「口臭」(46・6%)では

●口腔トラブルの実態
痛みや違和感2割、口臭は「1年以上」と答えた人が25・5%と多い

●口腔トラブルの対処法
「歯の痛み」(59・4%)、「歯の違和感」(46・6%)では

詳細は「チラシ」

10代～30代の約半数が口腔トラブルでパフォーマンス低下を経験 日本歯科医師会 (2024年12月3日掲載)

違和感」「口臭」年代別では、特に30代以下の若い世代で半数近くがパフォーマンス低下を感じている

※本調査では、仕事のみならず家事、学業においても歯や口の問題が原因でパフォーマンスが低下する状態を「フレズンティズム」と定義。

歯科医療機関を受診が一番多いが、「口臭」は対策グッズを購入して対処が一番多く、歯科医療機関を受診する人は12・4%

裸眼視力1.0未満の者の 割合が上昇 令和5年度学校保健統計

文部科学省

文部科学省は、11月27日に「令和5年度学校保健統計」の確定値を公表した。

概要は以下の通り。
●健康状態調査
(1)裸眼視力1.0未満の者の割合は、学校段階が進むにつれて高くなっており、小学校で3割を超えて、中学校では約6割、高等学校では7割近くとなっている。

●発育状態調査
(1)身長と体重の平均値は、ほとんどの年齢層で男女とも1998年度代まで上昇し、その後横ばい傾向。

令和5年度学校保健統計(学校保健統計調査の結果)確定値を公表します。文部科学省 (2024年12月3日掲載)

「健康を維持するために働く」が最多 第19回中高年者縦断調査を公表

厚生労働省

11月21日、厚生労働省は『第19回中高年者縦断調査(中高年者の生活に関する継続調査)』の概況を公表した。

この調査は、平成17年10月末時点で全国の50歳

59歳であった全国の男女を対象とし、その健康・就業・社会活動について、毎年追跡調査したものである。

この18年間で、「夫婦のみ」の世帯の割合は増加、「三世帯世帯」「親なし」世帯の割合は減少。

1. 世帯構成の変化
この18年間で、「夫婦のみ」の世帯の割合は増加、「三世帯世帯」「親なし」世帯の割合は減少。

2. 健康の状況
(1)健康状態の変化
この18年間で、健康状態が「よい」と思っている者の割合は減少傾向。

3. 就業の状況
(1)就業状態の変化
この18年間で、「正規の職員・従業員」の割合は減少、「パート・アルバイト」「自営業主、家族従業員」の割合は減少傾向。

(2)仕事をしている者の割合の変化
仕事をしている者の割合は、全ての調査対象者が60～69歳となった8年前の第11回と今回を比べるとどちらも年齢が高くなるにつれて減少している。しかし、比較可能な68～69歳をみると今回の68～69歳の方が男女とも

に仕事をしている割合は高い。
(3)仕事をしている理由
対象者で仕事をしている理由は、「健康を維持するため」が最も高い。
(4)就業希望の状況
対象者で、仕事をしていない者のうち「仕事をしたい」と思っている者の割合は男性は14・2%、女性は10・2%。

●健康状態調査
(1)裸眼視力1.0未満の者の割合は、学校段階が進むにつれて高くなっており、小学校で3割を超えて、中学校では約6割、高等学校では7割近くとなっている。

●発育状態調査
(1)身長と体重の平均値は、ほとんどの年齢層で男女とも1998年度代まで上昇し、その後横ばい傾向。

令和5年度学校保健統計(学校保健統計調査の結果)確定値を公表します。文部科学省 (2024年12月3日掲載)



「医療施設数」「病院の患者数・平均在院日数」減少 令和5(2023)年医療施設 (静態動態)調査・病院報告の概況

厚生労働省

厚生労働省は11月22日に「令和5(2023)年医療施設(静態・動態)調査・病院報告の概況」を公表した。

この調査は令和5年10月1日現在における「休止中・1年以上以上休診中」の施設を除いた「活動中の施設」179,834施設(全国の医療施設総数182,494施設の98.5%)について「施設数」「病床数」「診療等」の状況、「従事者数の状況」といった医療施設の調査と「患者数」「病床利用率」「平均在院日数」の病院の報告をとりまとめたものである。

概要は下記の通り。

●医療施設(静態・動態)調査

●医療施設数・病床数

病院: 8,122施設
 1. 481,183床(前年と比べて34施設減少、11,774床の減少)
 一般診療所: 104,78施設(前回(令和

2年)と比べて1,020施設減少)

●「産婦人科」または「産科」を標ぼうする医療施設数

一般病院: 1,254施設(前年と比べて17施設減少)
 一般診療所: 3,092施設(前回(令和2年)と比べて51施設減少)

●「分娩」を実施した医療施設数

一般病院: 886施設(前回(令和2年)と比べて60施設減少)
 一般診療所: 880施設(同119施設減少)

●病院の人口10万人に対する常勤換算医師数

全国209.4人

●病院報告

●病院の患者数

1日平均在院患者数: 1,123,654人(前年と比べて0.2%減少)
 1日平均外来患者数: 1,233,703人(同1.9%減少)
 ●病院の平均在院日数: 26.3日(前年と比べて1.0日の短縮)

19年ぶりに改訂 「有効性評価に基づく大腸がん検診ガイドライン」2024年度版公開

国立がん研究センター

11月27日に国立がん研究センターは、「有効性評価に基づく大腸がん検診ガイドライン」改訂版を公開した。

2024年度版の主なポイントは

●「有効性評価に基づく大腸がん検診ガイドライン」2005年版公開後の新たな研究の科学的根拠を検証し、わが国で推奨する大腸がん検診ガイドラインとして提言をまとめた。

●便潜血検査免疫法の推奨グレードはA、全大腸内視鏡検査の推奨グレードはC。

●便潜血検査免疫法を用いた検診の対象年齢と検診間隔、採便回数を新たに明示。

●複数の研究結果を集約し、便潜血検査免疫法の統合感度と統合特異度を出し、現在国内外で使用されている便潜血検査免疫法の感度が以前より大幅に向上したことが明らかになった。「便潜血検査を定期的な受診し、陽性になった場合には必ず精

密検査を受けること

で、大腸がんによる死亡がさらに減少すると考えられる」と同センターは述べている。

●全大腸内視鏡検査は死亡率減少効果を示す科学的根拠はあるが、証拠の信頼性が低いことから、現状では対策型検診で実施しないことを推奨。現在、国内外ですすめられている研究結果が公表された段階で再評価を行う、と

女性の健康総合センター (ICWH)開所

国立成育医療研究センターにて、シンポジウム「女性の健康は変わる」の開催が11月17日、東京・日本橋ライフサイエンスハブおよびオンライン

HPVワクチンのキャッチアップ接種 期間終了後も1年間の経過措置

厚生労働省

厚生労働省は「第64回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会」にて行われたHPVワクチンのキャッチアップ接種に関する議論を受けて、11月29日に各自自治体に向けて事務連絡を行った。

●基本方針部会における結論

●キャッチアップ接種期間終了後の取り扱いについて

●経過措置の期間について

●周知・広報について

●自治体の準備や医療機関の接種体制を確保するため、経過措置の内容について、できるだけ速やかに情報提供を行う必要がある。また、対象者が接種について検討・判断できるように、経過措置の内容とあわせて、ワクチンの有効性・安全性についても、引き続き丁寧かつ確実に情報提供を行うことが重要である。

●その他、厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会を経て、予防接種法施行令(昭和23年政令第197号)を改正し、2025年4月1日から施行する予定である。今後ヒトパピローマウイルス感染症に係る定期接種及び子宮頸がん 日本医師会

「子ども誰でも通園制度」のロゴマークを公開

子ども家庭庁

2026年度より子ども子育て支援法に基づく新たな給付として全国の自治体において実施される「子ども誰でも通園制度」。

そのロゴマークを、子ども家庭庁は12月9日に公開した。

通園制度を利用した子どもたちの発見や驚きを「虫メガネ」で、輝く笑顔や未来を「星の煌めき」でシンブルに表現し、色覚障害の方にも配慮した配色、デザインとしている。

子ども誰でも通園制度について 子ども家庭庁

不妊治療と仕事の両立支援 ガイドブックをWeb公開

厚生労働省

不妊の検査や治療を受けるポイントや情報を提供することがある(または現在受けている)夫婦は増加傾向にある。

一方、仕事と治療の日調整が難しいことなどから、不妊治療を経験した者のうち26.1%が、不妊治療と仕事を両立できずに離職、もしくは雇用形態の変更、不妊治療の断念をしている。

厚生労働省はその状況を踏まえ不妊治療をするに悩んでいる者、企業の人材育向けに不妊治療と仕事を両立するための「不妊治療と仕事の両立支援ガイドブック」を作成し、2024年12月12日掲載している。

企業には、不妊治療を受けながら安心して働き続けられる職場環境の整備を呼び掛けている。

不妊治療と仕事を両立できているか? 厚生労働省

「令和6年版死因究明等推進白書」公表

厚生労働省

12月13日、「死因究明等推進白書」が公表されました。死因究明等推進白書は、毎年報告されるもので、死亡原因の追求を通じて、安心・安全に暮らすことができ、生命の尊重・個人の尊厳が守られる社会の実現に役立てることを目的としています。

同報告書には、死因究明等に関する人材育成、機関の整備、検案の実施

ター長小宮ひろみ氏をはじめ、アメリカ女性の健康研究局(ORWH)局長のジャーニン・オースティン・クレイトン氏(事前収録)、日本性差医学・医療学会理事の天野恵子氏、日本産婦人科学会理事の加藤聖子氏の講演および対談が行われた。

●【女性の健康総合センター】開所記念シンポジウム・小宮ひろみ氏講演

●【女性の健康総合センター】開所記念シンポジウム・天野恵子氏講演

●【女性の健康総合センター】開所記念シンポジウム・加藤聖子氏講演

「子ども誰でも通園制度」のロゴマークを公開

子ども家庭庁

2026年度より子ども子育て支援法に基づく新たな給付として全国の自治体において実施される「子ども誰でも通園制度」。

そのロゴマークを、子ども家庭庁は12月9日に公開した。

通園制度を利用した子どもたちの発見や驚きを「虫メガネ」で、輝く笑顔や未来を「星の煌めき」でシンブルに表現し、色覚障害の方にも配慮した配色、デザインとしている。

子ども誰でも通園制度について 子ども家庭庁

「令和6年版死因究明等推進白書」公表

厚生労働省

12月13日、「死因究明等推進白書」が公表されました。死因究明等推進白書は、毎年報告されるもので、死亡原因の追求を通じて、安心・安全に暮らすことができ、生命の尊重・個人の尊厳が守られる社会の実現に役立てることを目的としています。

同報告書には、死因究明等に関する人材育成、機関の整備、検案の実施

ターは、「女性の健康総合センター」の開所を記念して、11月17日、東京・日本橋ライフサイエンスハブおよびオンラインの健康総合センター

●【女性の健康総合センター】開所記念シンポジウム・小宮ひろみ氏講演

●【女性の健康総合センター】開所記念シンポジウム・天野恵子氏講演

「子ども誰でも通園制度」のロゴマークを公開

子ども家庭庁

2026年度より子ども子育て支援法に基づく新たな給付として全国の自治体において実施される「子ども誰でも通園制度」。

そのロゴマークを、子ども家庭庁は12月9日に公開した。

通園制度を利用した子どもたちの発見や驚きを「虫メガネ」で、輝く笑顔や未来を「星の煌めき」でシンブルに表現し、色覚障害の方にも配慮した配色、デザインとしている。

子ども誰でも通園制度について 子ども家庭庁

「令和6年版死因究明等推進白書」公表

厚生労働省

12月13日、「死因究明等推進白書」が公表されました。死因究明等推進白書は、毎年報告されるもので、死亡原因の追求を通じて、安心・安全に暮らすことができ、生命の尊重・個人の尊厳が守られる社会の実現に役立てることを目的としています。

同報告書には、死因究明等に関する人材育成、機関の整備、検案の実施

令和7年度母子健康手帳 乳幼児身体発育曲線など改定

12月27日付で、子ども家庭庁は令和7年度母子健康手帳にかか事務連絡を行った。

令和7年度版では、下記のとおり改定が行われる。

●【省令様式】乳児の検査記録に、「サイトメガロウイルス検査」の記入欄を追加

●【任意様式】乳幼児身体発育曲線、身長体重曲線を更新

●【任意様式】任意様式がアップデートされた

「乳幼児身体発育調査」を受けて、乳幼児身体発育曲線、身長体重曲線を更新

▼母子健康手帳 子ども家庭庁

（2025年1月15日掲載）

「乳幼児身体発育調査」を受けて、乳幼児身体発育曲線、身長体重曲線を更新

▼母子健康手帳 子ども家庭庁

（2025年1月15日掲載）

2月27日、厚生労働省は、2024年12月分の人口動態速報を公表した。

2024年1～12月における出生数は72万988人となり、過去最少で

2月27日、厚生労働省は、2024年12月分の人口動態速報を公表した。

2024年1～12月における出生数は72万988人となり、過去最少で

4月25日、厚生労働省薬事審議会・医薬品第一部会において、国内初のプロゲステロン単剤経口避妊薬の承認が了承された。

現在、経口避妊薬は、2種類の女性ホルモン（エストロゲンとプロゲステロン）の混合型のものが扱われている。この中で、エストロゲンは、血栓症のリスクとなると考えられ、血栓症要因がある、あるいは家族に血栓症の既往がある方、肺塞栓症、脳血管障害、冠動脈疾患などの既往がある方等には、服用禁忌とされている。承認されることで、これまでより多くの女性に経口避妊薬活用の可能性が広がる。

以下、本会長北村邦夫のコメント。

「国内初のプロゲステロン単剤経口避妊薬の承認は、女性の健康と生活の質を向上させる重要な一歩です。厚生労働省の迅速な承認は、女性の健康と生活の質を向上させる重要な一歩です。」

国内初のプロゲステロン単剤経口避妊薬の承認は、女性の健康と生活の質を向上させる重要な一歩です。厚生労働省の迅速な承認は、女性の健康と生活の質を向上させる重要な一歩です。

「いつだって まんまるまんなか」子どもたち

1月10日、子ども家庭庁は、2025（令和7）年度「子どもまんなか 児童福祉週間」の標語「いつだって まんまるまんなか」を公表した。

（村田六花さん 18歳 兵庫県）

子ども家庭庁は、毎年5月5日から1週間を「子どもまんなか児童福祉週間」と定めており、この期間中、児童福祉の理念の普及啓発のために

いつだって まんまるまんなか 子どもたち

（村田六花さん 18歳 兵庫県）

子ども家庭庁は、毎年5月5日から1週間を「子どもまんなか児童福祉週間」と定めており、この期間中、児童福祉の理念の普及啓発のために

全国でさまざまなイベントが行われる。

▼令和7年度「子どもまんなか 児童福祉週間」の標語が決定しました

子ども家庭庁

（2025年1月15日掲載）

3月28日、厚生労働省は、自殺対策推進室は、「令和6年中における自殺の状況」を公表した。

2024年の自殺者数は2万3200人（男性1万3801人、女性5199人）で、前年より1517人減少した。

一方、小中高生は529人であり、過去最多となった。

3月28日、厚生労働省は、自殺対策推進室は、「令和6年中における自殺の状況」を公表した。

2024年の自殺者数は2万3200人（男性1万3801人、女性5199人）で、前年より1517人減少した。

一方、小中高生は529人であり、過去最多となった。

機は、学校問題が最多（272人）で、次いで健康問題（164人）、家庭問題（108人）であった。

▼令和6年中における自殺の状況 厚生労働省

（2025年4月2日掲載）

機は、学校問題が最多（272人）で、次いで健康問題（164人）、家庭問題（108人）であった。

▼令和6年中における自殺の状況 厚生労働省

（2025年4月2日掲載）

5月5日の「子どもの日」、総務省は2025年4月1日現在の子ども数（15歳未満人口）を公表した。

子どもの数は1,366万人で、前年より35万人少なかった。1982年以降、44年連続で減少しており過去最少となった。

5月5日の「子どもの日」、総務省は2025年4月1日現在の子ども数（15歳未満人口）を公表した。

子どもの数は1,366万人で、前年より35万人少なかった。1982年以降、44年連続で減少しており過去最少となった。

子ども数1366万人 過去最少 総務省統計局

（2025年5月7日掲載）

労働安全衛生 対策強化に向けて労政審が建議

今日17日、厚生労働省の労働政策審議会建議「今後の労働安全衛生対策について」が公表された。

労働災害による死者数は長期的に減少傾向にあるものの、2024（令和6）年の速報値では631人となっており、前年同期比で22人（3.6%）増加している。また、近年、休業4日以上の死傷者数は2023（令和5）年は13万5,371人、3年連続増加となった。

加えて、近年、メンタルヘルスの不調を訴える労働者の増加、高齢化の進展などもあり、労働安全衛生をめぐっては対策が求められている。

こうした現状を踏まえ、労政審は、労働安全衛生対策の強化を厚生労働大臣に求める建議を行った。

主な概要は、次のとおりである。

児童虐待過去最多約22万6,000件 「令和5年度児童相談所における児童虐待相談対応件数」

この3月に子ども家庭庁が公表した「令和5年度児童虐待相談所における児童虐待相談対応件数」によると、2023年度は22万5,509件に上ることが分かった。

虐待種別を見ると、心的虐待（約13万5,000件、59.8%）の割合が最も多く、次いで身体的虐待（約5万1,623件、22.9%）、ネグレクト（3万6,465件、16.2%）、性的虐待（2,473件、1.1%）となった。

出生数70万人を下回る 人口動態統計

6月4日、厚生労働省は令和6（2024）年人口動態統計月報年計（概数）を公表した。

出生数は、過去最少の68万6,061人。対前年4万1,227人の減少（9年連続減少）

合計特殊出生率は、1.15（過去最低）（9年連続低下）

死産数は、1万5,322胎で減少した（対前年212胎減少）

死亡数は、160万

6月4日、厚生労働省は令和6（2024）年人口動態統計月報年計（概数）を公表した。

出生数は、過去最少の68万6,061人。対前年4万1,227人の減少（9年連続減少）

合計特殊出生率は、1.15（過去最低）（9年連続低下）

死産数は、1万5,322胎で減少した（対前年212胎減少）

死亡数は、160万

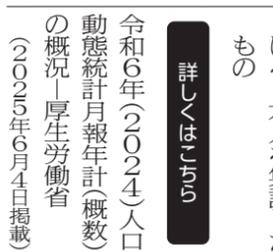
国内初のプロゲステロン単剤経口避妊薬 厚労省専門部会が承認を了承

4月25日、厚生労働省薬事審議会・医薬品第一部会において、国内初のプロゲステロン単剤経口避妊薬の承認が了承された。

現在、経口避妊薬は、2種類の女性ホルモン（エストロゲンとプロゲステロン）の混合型のものが扱われている。この中で、エストロゲンは、血栓症のリスクとなると考えられ、血栓症要因がある、あるいは家族に血栓症の既往がある方、肺塞栓症、脳血管障害、冠動脈疾患などの既往がある方等には、服用禁忌とされている。

4月25日、厚生労働省薬事審議会・医薬品第一部会において、国内初のプロゲステロン単剤経口避妊薬の承認が了承された。

現在、経口避妊薬は、2種類の女性ホルモン（エストロゲンとプロゲステロン）の混合型のものが扱われている。この中で、エストロゲンは、血栓症のリスクとなると考えられ、血栓症要因がある、あるいは家族に血栓症の既往がある方、肺塞栓症、脳血管障害、冠動脈疾患などの既往がある方等には、服用禁忌とされている。



プレコンセプションケア 推進5か年計画

こども家庭庁

5月22日、こども家庭庁は「プレコンセプションケア推進5か年計画」を生と健康に関する正しい知識の普及と相談支援の充実に向けて「を公表した。

今後、プレコンセプションケアの概念の普及と相談支援体制の充実に向けた取り組みが行われていく。

基本的な考え方と主な取り組みは、下記の通り。

基本的な考え方

1. プレコンセプションケアに関する概念の普及

プレコンセプションケア…性別を問わず、適切なしやすくなるような体制

2. プレコンセプションケアに関する相談支援体制の充実

現在、相談先として自治体の窓口があまり知られていない現状を踏まえ、若い世代がより相談しやすくなるような体制

3. 専門的相談支援体制の強化

産婦人科以外の医師もプレコンセプションケアに関する十分な知識を持つとともに、かかりつけ医と産婦人科医の必要に応じた連携に資する資料が必要。

今後5か年の集中的な取り組み

【全ての世代に向けた取り組み】性や健康に関する正しい知識の普及と情報提供

- ・SNS等を活用した積極的な情報発信
- ・プレコンセプションケアの普及に係る人材(プレコンサポーター)の育成と、講演会等の開催支援
- 〈目標〉認知度80%以上

万人以上

【妊娠・出産を含めた性や健康に関する相談を求めている方への対応】相談支援の充実(一般相談・相談窓口の認知推進)

- ・身近な地域における専門家による相談支援体制の整備
- ・相談者の利便性に配慮した運営
- 〈目標〉相談窓口認知度100%

【専門的な相談をしたい方への対応】相談支援の充実(一般相談)

- ・全国に相談窓口を展開
- ・医療者用相談対応マニュアルの作成・周知
- 〈目標〉専門相談医療機関数200以上

なお、推進にあたっては、若い世代の意見を聞き、当事者のニーズに沿って取組を実施し、定期的に施策の効果を評価していく。

また、国は国立成育医療研究センターと連携し

技術的に支援をする。さらに自治体は、この5か年計画を参考に地方版推進計画を策定するなどして、計画的に推進していくこととなる。

【詳しくは「チラシ」】

平均寿命 男性81.09年、女性87.13年

令和6(2024)年簡易生命表を公表

厚労省

厚生労働省は7月25日、「令和6(2024)年簡易生命表」を公表した。

同資料によると、男性の平均寿命は81.09年、女性の平均寿命が87.13年となっており、前年と比較して男性は0.00歳と横ばい、女性は0.01歳下回っている。

前年との差を死因別にみると、男性は心疾患(高血圧を除く)や自殺など、女性は心疾患(高血圧を除く)や新型コロナウイルス(COVID-19)などの死亡率の変化が平均寿命を延ばす要因となった。その一方で、老衰、肺炎などの死亡率の変化が平均寿命を縮める方向に働いたとされる。

世界人口白書2025 「出産をめぐる真の課題」変化を追求する自己決定権

6月10日、国連人口基金(UNFPA)は、2025年版「世界人口白書」を発表した。

今年のテーマは「出産をめぐる真の課題」(THE REAL FERTILITY CRISIS: The pursuit of reproductive agency in a changing world)。

日本は調査対象国に含まれていないが、報告内容

は多くの国々に警鐘をならす国際的な課題を浮き彫りにしている。主な調査結果は、以下の通りである。

- ・50%以上の人が、経済的な問題が、望む数の子どもを持つことの妨げになっている
- ・5人に1人が、自分が望んでいないにもかかわらず、子どもを持つことに対する「経済的・社会的障壁」が、リプロダクティブ・エージェンシーに迫られたことがある
- ・成人の3人に1人が、意図しない妊娠を経験した
- ・11%が、育児負担の平等によって子どもを持つことが難しくなる

この報告は、子どもを持つことに対する「経済的・社会的障壁」が、リプロダクティブ・エージェンシーに迫られたことがある

【詳しくは「チラシ」】

つよに迫られたことがある

成人の3人に1人が、意図しない妊娠を経験した

11%が、育児負担の平等によって子どもを持つことが難しくなる

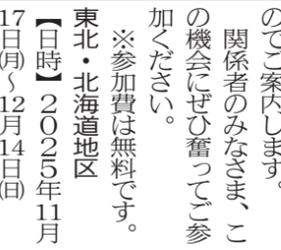
この報告は、子どもを持つことに対する「経済的・社会的障壁」が、リプロダクティブ・エージェンシーに迫られたことがある

エンシー(生殖に関する自己決定権)の危機的状況をつくりあげていることを明らかにしている。

さらに同書は、この状況を打破するための解決策として、個人の生殖への尊重を尊重するシステム(以下)の構築が不可欠であると強調している。

- ・手頃な保育料やすべての養育者のための有給休暇など家族に優しい政策
- ・安定した仕事と手頃な住宅の供給による成人移行期の若者への支援
- ・女性が育児に不釣り合いな責任を負わず、男性が育児のやりがいを感じられること

【詳しくは「チラシ」】



【世界人口白書2025】(国連人口基金) (2025年6月16日掲載)

【日時】2025年11月17日(月)～12月14日(日)

【会場】栃木県総合文化センター 特別会議室

【日時】2025年11月6日(木)

【会場】栃木県総合文化センター 特別会議室

【日時】2025年11月17日(日)

【会場】静岡県男女共同参画センター「あざれあ」6階大ホール

【日時】2025年11月10日(月)

【会場】山口県健康づくりセンター 多目的ホール

【日時】2025年11月17日(日)

【会場】静岡県男女共同参画センター「あざれあ」6階大ホール

【日時】2025年10月17日(日)

【会場】静岡県男女共同参画センター「あざれあ」6階大ホール

【日時】2025年11月10日(月)

【会場】山口県健康づくりセンター 多目的ホール

【日時】2025年11月21日(火)～10月22日(水)

【会場】北海道自治労会館 4階ホール

【日時】2025年10月21日(火)～10月22日(水)

【会場】北海道自治労会館 4階ホール

【日時】2025年10月21日(火)～10月22日(水)

【会場】北海道自治労会館 4階ホール

【日時】2025年11月10日(月)

【会場】山口県健康づくりセンター 多目的ホール

【日時】2025年11月17日(日)

【会場】静岡県男女共同参画センター「あざれあ」6階大ホール

【日時】2025年10月17日(日)

【会場】静岡県男女共同参画センター「あざれあ」6階大ホール

【日時】2025年11月10日(月)

【会場】山口県健康づくりセンター 多目的ホール

【日時】2025年11月21日(火)～10月22日(水)

【会場】北海道自治労会館 4階ホール

【日時】2025年10月21日(火)～10月22日(水)

【会場】北海道自治労会館 4階ホール

2025年度ブロック別 母子保健事業研修会概要について

開催地・主催県 宮城、栃木、静岡、山口、福岡、北海道

厚労省

【開催方式】オンデマンド配信

【主な内容】産後ケアについて、都道府県と市町村の役割/宮城県における産後ケア事業の集合契約について/助産所における産後ケアの実践

【問い合わせ】宮城県保健福祉部子育て社会推進課 子育て支援班 ☎022-2111-2528

【会場】宮城県保健福祉部子育て社会推進課 子育て支援班 ☎022-2111-2528

【日時】2025年10月17日(日)

【会場】静岡県男女共同参画センター「あざれあ」6階大ホール

【日時】2025年11月10日(月)

【会場】山口県健康づくりセンター 多目的ホール

【日時】2025年11月17日(日)

【会場】静岡県男女共同参画センター「あざれあ」6階大ホール

【日時】2025年10月17日(日)

【会場】静岡県男女共同参画センター「あざれあ」6階大ホール

【日時】2025年11月10日(月)

【会場】山口県健康づくりセンター 多目的ホール

【日時】2025年11月21日(火)～10月22日(水)

【会場】北海道自治労会館 4階ホール

【日時】2025年10月21日(火)～10月22日(水)

【会場】北海道自治労会館 4階ホール

【日時】2025年11月10日(月)

【会場】山口県健康づくりセンター 多目的ホール

【日時】2025年11月17日(日)

【会場】静岡県男女共同参画センター「あざれあ」6階大ホール

【日時】2025年10月17日(日)

【会場】静岡県男女共同参画センター「あざれあ」6階大ホール

【日時】2025年11月10日(月)

【会場】山口県健康づくりセンター 多目的ホール

【日時】2025年11月21日(火)～10月22日(水)

【会場】北海道自治労会館 4階ホール

【日時】2025年10月21日(火)～10月22日(水)

【会場】北海道自治労会館 4階ホール

学校等85.7%が敷地内 全面禁煙、病院は100%達成

厚労省

【日時】2025年11月10日(月)

【会場】山口県健康づくりセンター 多目的ホール

【日時】2025年11月17日(日)

【会場】静岡県男女共同参画センター「あざれあ」6階大ホール

【日時】2025年10月17日(日)

【会場】静岡県男女共同参画センター「あざれあ」6階大ホール

【日時】2025年11月10日(月)

【会場】山口県健康づくりセンター 多目的ホール

【日時】2025年11月17日(日)

【会場】静岡県男女共同参画センター「あざれあ」6階大ホール

【日時】2025年10月17日(日)

【会場】静岡県男女共同参画センター「あざれあ」6階大ホール

【日時】2025年11月10日(月)

【会場】山口県健康づくりセンター 多目的ホール

【日時】2025年11月21日(火)～10月22日(水)

【会場】北海道自治労会館 4階ホール

【日時】2025年10月21日(火)～10月22日(水)

【会場】北海道自治労会館 4階ホール

複数の身体症状で抑うつリスクが高まる？

思春期世代の抑うつの早期発見につながる可能性

国立成育医療研究センター

9月2日、国立成育医療研究センターが、10歳未満の子どもの抑うつ症状と15歳の思春期世代を対象とした調査で、身体症状の数が多いと抑うつ症状のリスクが高くなる可能性があるという結果を公表した。見過ごされやすすい子どもの抑うつ症状の早期発見に役立てられることが期待される。

主なポイントは下記の通り

- 頭痛、腹痛、背部痛、めまいなど、複数の身体症状を月に1回以上訴える子どもは、抑うつ症状を持つリスクが顕著に高く、多いほどリスクが高まる(身体症状が1つあるとリスクは2・7倍、4つだと16・4倍)。
- 抑うつ症状のある子どもは、約86%が、何らかの身体症状を月に1回以上経験している。身体の不調が心の健康状態を反映している可能性が示唆される。

子どもは、複数の身体症状の「数」や「頻度」に注目することで、家庭や学校、プライマリケアの現場でも活用できる簡便なスクリーニング方法になる可能性が示された。



詳しい情報はコチラ

国立成育医療研究センター
2025年9月17日掲載

若年層では女性のほうが多い!

国立成育医療研究センター

国立成育医療研究センターが、9月12日、がん、糖尿病、循環器疾患、神経筋疾患の男女の性差に関するレポートを作成した。

男性の罹患者が多いというイメージを持たれやすいがんは、20～35歳では女性の方が多い傾向がみられた。

このほか、女性に多いとされるクモ膜下出血、乳がんなどについても、年齢による性差の変化を明らかにしている。

詳しくはコチラ

20～35歳では「胃がん」は男性より女性の方が多く、女性の健康総合センターが疾患別性差の可視化レポートを公開し、性差に合わせて適切な医療を設計する未来を目指して、国立成育医療研究センター

なったもので、13・6%の父親が心理的・身体的・経済的・性的な家庭内暴力を経験していた。また、家庭内暴力を受けている父親がいる家庭では、子どもへの虐待リスクが高い傾向にあり、身体的虐待が約2・0倍、心理的虐待が約2・1倍、ネグレクトが約3・1倍、そのほか何らかの虐待が約2・0倍となった。

出生数は過去最少68万6千人 死亡数は過去最多160万5378人

令和6(2024)年人口動態統計

厚生労働省は9月16日に、令和6(2024)年人口動態統計(確定数)を公表した。

出生数は、過去最少となり、68万6173人であった(対前年4万1115人減)。なお、9年連続で減少傾向が続いている。

死亡数は、160万5378人、4年連続増加しており、過去最多であった(対前年2万9362人増加。調査開始以来最多となった。死因では、第1位が悪性新生物(腫瘍)で38万4111人。続いて、第2位は心疾患(22万6388人)、第3位は老衰(20万6887人)。

令和6年(2024)年人口動態統計(確定数)の概況(厚生労働省) 2025年9月20日掲載

調査開始以来最多となった。死因では、第1位が悪性新生物(腫瘍)で38万4111人。続いて、第2位は心疾患(22万6388人)、第3位は老衰(20万6887人)。

父親への家庭内暴力 子どもへの虐待リスクを高める?

国立成育医療研究センター

8月25日、国立成育医療研究センターは、父親がパートナーからの暴力が2倍ほどに高まるという研究結果を公表した。

これは生後1年以内の子どもを育てる父親1,248人を対象とした調査から明らかに



詳しくはコチラ

国立成育医療研究センター 2025年9月20日掲載

WEBにて無料公開中!

あなたと赤ちゃんの健康

妊娠中から考える お産のあとの

英語、中国語、ベトナム語など10言語にも対応!

あなたと赤ちゃんの健康



母子健康手帳情報支援サイトへはこちらからアクセスください

JFOA® 一般社団法人 日本家族計画協会

新しくなった「あな赤」を、ぜひお役立てください

「妊娠中から考える お産のあとのあなたと赤ちゃんの健康」とは

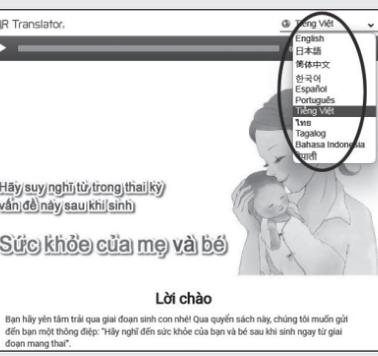
妊娠・出産・子育てにポイント企業などを通して関係する啓発のために、本多くのお母さんたちの妊娠が1969年より毎年、出産・育児に役立てられてきた啓発冊子です。

2024年度より、さらに広く、たくさんの方々にご覧いただけるよう、WEBでの無料公開も開始しました。

また、日本語を含む11言語でお読みいただけるよう、音声読み上げ機能も付いております(左記参照)。

日本語を含む11言語に対応!

音声読み上げ機能も



本誌は日本語を含む11言語でお読みいただけます。専用アプリは不要です。音声読み上げ機能もついています。二次元バーコードをスマートフォンなどで読み取って、ご利用ください。

【対応言語】
英語、簡体中国語、韓国語、スペイン語、南米ポルトガル語、ベトナム語、インドネシア語、タイ語、タガログ語、ネパール語

※「QR Translator」は株式会社PIJINの商標登録です

お知らせ



WEB版はこちら

https://www.jpfa.or.jp/anatato_akachan/

職域保健の現場から

60

京株式会社ダイフク 人事総務 奥谷 さやか
本部人事総務部滋賀グループ

高年労働者の健康管理・健康支援

本連載では職域保健の現場で活躍されている方にさまざまな取り組みを寄稿いただいています。今回は株式会社ダイフク人事総務本部人事総務部滋賀グループの奥谷さやかさんに、同社での高年労働者の健康管理や健康支援などについてご紹介いただきます。(編集部)

師、2名のヘルスキーパー(あん摩マッサージ指圧師)が、従業員の健康をサポートしています。健康課題(生活習慣・メンタル・喫煙)と健康支援

職場紹介

株式会社ダイフクは、リアルハンドリングを核とする「モノを動かす技術」で、心豊かに生きられる社会の創造を目指す会社です。私が所属している滋賀事業所は、滋賀県の東側にある日野町の120万平方メートルの広大な敷地にあります。元々あった池がそのまま自然保護され、ハヤブサやカスミサンショウウオなど、50種類以上の希少種が生息しています。このような豊かな自然に囲まれた事業所は、当社の主力製品である物流システム・機器の生産拠点であり、シェアでは世界最大級の規模を誇ります。約1,700人の社員が在籍し(2024年8月末現在)、1名の専属産業医と3名の保健

健康を考える上では、滋賀事業所は公共交通機関によるアクセスが難しく、自動車通勤をする従業員が多いため、全年齢層で日常生活における活動量が少ないことがウイークポイントになっています。定期健康診断の結果を見ると、ダイフク全体の年齢層のボリュームは20歳代後半が最も多くなっています。中高年齢者に当たる50歳代前半も多

く、有所見率を上昇していることから、今の30〜40歳の健康状態が良くなることで、20年先、30年先の高年齢労働者の有所見率を下げることができるとは思っています。

メンタルヘルスに関する保健師の取り組みとしては、入社・異動に伴ってストレスが高まりそう

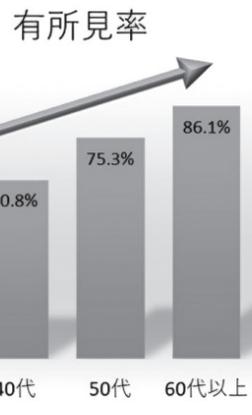


図1 年代別有所見率

な時期を見計らい、保健師面談を実施しています。また、65歳を超えて雇用継続となる従業員に対しては、状況により更新のタイミングで面談を行うなど、健康診断の結果のみならず、就労環境やメンタル面にも気を配り安全に働き続けられるようフォローしています。

2023年度の喫煙率は24.4%と決して低い数字ではありませんが、毎年多くの従業員が禁煙にチャレンジしていることが、健康診断の結果を

経年で追うことで分かっています。そのような背景もあり、禁煙を後押しする施策として、卒業プログラムの実施や、就業時間内に禁煙タイムを設けるなど禁煙を支援し、併せて受動喫煙による健康被害の低減も図っています。

健康支援の組織(こころと体の健康づくり委員会)と活動内容

当社では従業員の心身の健康づくりについて、会社・産業医・保健師・健康保険組合・労働組合が連携して「こころと体の健康づくり委員会」を

組織し、「事務局」と「分科会」で分担しています。事務局は全社員を対象にした施策を企画実施、分科会は主要拠点事業所が担当する地域の社

域資源に合った施策を行うなど、従業員がいきいきと働くことができる職場環境の整備に努めています。

活動例として、事務局では、年齢に関連はないものの転倒災害が毎年の

ように発生し、転倒災害で健康リスクの低減予防が課題に挙げられたことから、つまずきや転倒による怪我を未然に防

止するため、今年度は全社員を対象とした「サルコペニアを予防しよう」と題したeラーニングを作成・実施しました。その他、スクリーニングなど一定の基準に該当した人のうち、希望者に対して睡眠時無呼吸の簡易検査を実施することで、睡眠への関心を高め、より良い睡眠がとれるよう生活改善のきっかけをつくら

たり、治療につながる。滋賀事業所の分科会では、日常生活での活動量の増加を目指す、滋賀事業所の中心にある「やすらぎ池」のほとりにある、やすらぎハウスを拠点とした「ランチウォーク」を毎月2回休みに開催しています(写真1)。

歩行コースは各自で自由に設定でき、各職場からやすらぎハウスまでは約5分となっており、昼食後に軽い運動をする良いきっかけとなっています。

日々の保健師活動を通して、全従業員の中で、多くの人数を占めている現在の50歳代の従業員が働き続けることで、これから徐々に60歳代の人数が増えていくことが予想されます。この年代になると治療を受けている従業員も多く、今後有所見者の割合は増えていくと思

います。持病とうまく付き合ひ、いきいきと働く、それらを示すことができれば、若い世代の従業員が「ダイフクでの就

労は健康的である」と感じられ、ワークエンゲージメントの向上につながる要素にもなると思

います。私は、「産業保健師の役割は、従業員の個々の健康を支えるのみならず、会社の将来を支える縁の下の力持ちのような役割」であると思っています。これらを直接感じることができるとは産

業保健師の醍醐味だと感じながら、これからも日々健康のサポートに取り組んでいきたいと思

います。(2024年12月1日掲載)

職域保健の現場から

61

京西日本旅客鉄道株式会社 大町 智栄
広島健康増進センター 保健師

シニア世代への健康支援

職域保健の現場で活躍されている方にさまざまな取り組みを寄稿いただいている本連載。今年度は、高年労働者の健康管理・健康支援等をテーマにお届けしております。今回、西日本旅客鉄道株式会社広島健康増進センター保健師・大町智栄さんに、同社で行われているシニア世代への健康支援についてご紹介いただきました。ぜひご覧ください。(編集部)

アにおいて鉄道事業を核としたホテル、物販、不動産などさまざまな事業を併せて受動喫煙による健康被害の低減も図っています。

シニア世代への健康支援についてご紹介いただきました。ぜひご覧ください。

シニア世代への健康支援についてご紹介いただきました。ぜひご覧ください。

シニア世代への健康支援についてご紹介いただきました。ぜひご覧ください。

シニア世代への健康支援についてご紹介いただきました。ぜひご覧ください。

シニア世代への健康支援についてご紹介いただきました。ぜひご覧ください。

シニア世代への健康支援についてご紹介いただきました。ぜひご覧ください。



写真1 ランチウォークの1コマ



シニア世代への健康支援についてご紹介いただきました。ぜひご覧ください。

シニア世代への健康支援についてご紹介いただきました。ぜひご覧ください。

職域保健の現場から

62

スタンレー電気株式会社総務部 保健師 外門 悠子

（左）は、乗務員の管理・育成を担当する本社管理部門と連携し、2019年度より「加齢の自覚」「働きがいの再確認」「仲間の存在の再確認」を目的とした「シニア乗務員フォーラム」を実施しています。『今の自分を振り返り、実感し、これからを、らしく生きる』をテーマとした研修は、本社管理部門が担当する、仕事におけるモチベーションの維持向上・定年までの目標設定に関する講義と、保健師と理学療法士が担当する健康に関する体感型の講義の

2部構成となっており、健康に関する体感型の講義においては、身体機能の低下を自覚し、これからの私生活及び業務の充実が図れるよう、受講者同士で日常生活を振り返り健康観などを話し、時間や体力測定・記憶力テストなどを行っています（表1）。同年代が集まった研修であり、ディスカッションは活発で笑顔があふれ、受講者からは「体力測定を通じて思っていた以上に筋力が低下していると感じた」「食事や運動の大切さを改めて認識できた」「仲間と久し

働き世代の睡眠支援

健康経営の取り組みの一環としての「睡眠」

職域保健の現場で活躍されている方にさまざまな取り組みをご寄稿いただいている本連載。今回は、スタンレー電気株式会社総務部保健師・外門悠子さんに、同社で行われている働き世代の睡眠支援について紹介いただきました。ぜひご覧ください。

（編集部）

技術で豊かな毎日と安全安心な未来を届ける事業を展開しています。単体での従業員数は約3,900名、国内の営業所を含めると約20か所の拠点を有しています。

睡眠課題と健康経営の背景

当社では「競争力のあ

スタンレー電気株式会社は1920年の創業以来、自動車機器製品、コンピュータ製品、電子応用製品を通して、光の

「競争力のある企業」を目指し、社員個人と職場の健康を促進する健康経営を推進しています。2025年度からは、研究開発・製造拠

点を中心に保健師を増員・配置し、産業保健体制の強化を図っています。人事部の保健師が健康経営事務局を担っており、産業保健スタッフとしての視点を踏まえて各拠点への施策を展開できるように支援していただくため、各拠点の保健師も健康経営の方針を理解したうえで、事業所特性に応じた施策を検討・展開できる点が強みです。

健康経営の評価指標として、当社では「ウェル

特に働き世代では、長時間労働や生活リズムの乱れにより、睡眠の質・

量に課題を抱えるケースが多く、職域保健の現場でも対応が求められています。

社内ではeラーニングを通じたセルフケア教育に加え、今年度より健康管理アプリ「FINNC」を活用した睡眠イベントの実施を予定しています。

eラーニングは全体的な知識提供としては有効ですが、実際に従業員と関わるような自分ごと化できていない印象です。一方で健康管理アプリでのウォーキングイベントでは自分や部署の平均歩数を増やすために

「睡眠で十分な栄養が取れない」と回答する従業員が一定数存在しており、睡眠支援は重点項目として位置付けています。

「睡眠で十分な栄養が取れない」と回答する従業員が一定数存在しており、睡眠支援は重点項目として位置付けています。

「睡眠で十分な栄養が取れない」と回答する従業員が一定数存在しており、睡眠支援は重点項目として位置付けています。

表1 健康に関する体感型の講義の内容

1. 身体機能の変化
1) 眼
2) 耳
3) 人の特性：記憶と能力
2. シニア世代から始める運動習慣(体力測定)
3. 生活習慣の確認と見直し
1) 食生活
2) 歯の健康
3) 運動習慣
4. 健康目標発表・まとめ

ぶりに集まり、健康や仕事について話すことができて楽しかった」といっ

た声がかれました。研修では自身の健康課題や、具体的な改善策を考

え、今年度からは乗務員に

「睡眠で十分な栄養が取れない」と回答する従業員が一定数存在しており、睡眠支援は重点項目として位置付けています。

「睡眠で十分な栄養が取れない」と回答する従業員が一定数存在しており、睡眠支援は重点項目として位置付けています。

「睡眠で十分な栄養が取れない」と回答する従業員が一定数存在しており、睡眠支援は重点項目として位置付けています。

「睡眠で十分な栄養が取れない」と回答する従業員が一定数存在しており、睡眠支援は重点項目として位置付けています。

「睡眠で十分な栄養が取れない」と回答する従業員が一定数存在しており、睡眠支援は重点項目として位置付けています。

える機会になったのでは

「睡眠で十分な栄養が取れない」と回答する従業員が一定数存在しており、睡眠支援は重点項目として位置付けています。

「睡眠で十分な栄養が取れない」と回答する従業員が一定数存在しており、睡眠支援は重点項目として位置付けています。

「睡眠で十分な栄養が取れない」と回答する従業員が一定数存在しており、睡眠支援は重点項目として位置付けています。

「睡眠で十分な栄養が取れない」と回答する従業員が一定数存在しており、睡眠支援は重点項目として位置付けています。

「睡眠で十分な栄養が取れない」と回答する従業員が一定数存在しており、睡眠支援は重点項目として位置付けています。

「睡眠で十分な栄養が取れない」と回答する従業員が一定数存在しており、睡眠支援は重点項目として位置付けています。



「ウェルスタ7」の項目と目標

ぐっすり寝て、すっきり働こう

睡眠記録で ねる活WEEK

期間 9/1日～11/1日

内容 寝るだけで、カラダもココロも本プログラムは、毎日の睡眠記録を見直すことを目的としたプログラム。あなたも「ねる活WEEK」をはじめよう。

参加方法

- FINCアプリを開く。
- ホーム下の「プログラム」をタップ。
- プログラムページに表示されるアクションを実行し「参加」をタップ。

マイル獲得チャンス！

- ① イベント期間中7日以上睡眠記録を達成！ → 500マイル
- ② 14日間のアクション全てを達成！ → 500マイル
- ③ ①②を両方達成！ → 1000マイル

「健康管理アプリでの睡眠イベント」

2025年9月1日掲載

目があつたのでコーヒーを飲まなかったと話す従業員がいるなど、実際の行動に直結させやすい実感がああります。

今回のイベントでは、従業員が睡眠に関する知識を学びながら、生活習慣を振り返るチェックリストを実施し、達成度に応じてポイントが付与されるインセンティブ制度を導入する予定です。楽しみながら健康行動を促す仕組みとして、従業員の参加意欲向上と、より良い睡眠習慣の獲得を期待しています。

また、各拠点の保健師は個別の健康相談・保健指導に加え、社内報での「ほっとラインnavi」を通じて、睡眠を含む健康情報の発信も担っています。長時間残業や交代勤務など、拠点ごとに異なる勤務形態や特徴に応じて、情報提供の内容や表現工夫していただいている。睡眠不足は、質の高い睡眠を得るための行動ポイントを、分かりやすく伝えることが

睡眠支援を通じて見えてきたこと

当社において、睡眠支援はまだ始まったばかりの取り組みです。産業医面談や保健師面談においても、睡眠の大切さを伝える場面は多くありますが、「仕事が忙しいから、睡眠不足はしょうがない」と話していた従業員が、睡眠の質を上げるために寝る前の食事を腹八分目にできたと嬉しそうに話す姿を

ほっとラインnavi

睡眠

話題の時間栄養学・体内時計に着目した、夕食が遅いときのポイントを紹介いたします。遅い時間の夕食は体内時計が狂う原因となり、睡眠充足感の低下につながります。

ポイント

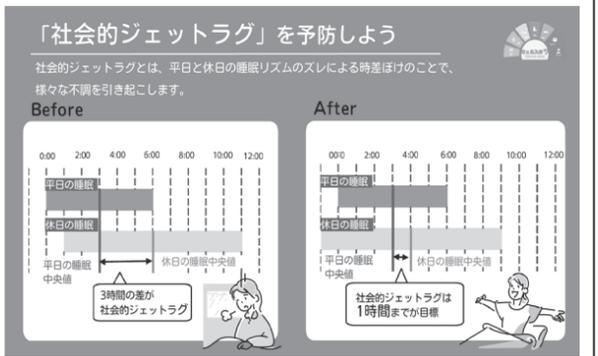
- 夕食は20時までに食べ終える
- 20時以降になる場合は、夕方に補食(おにぎりなど)をとってもOK その分夕食の量は控えめに
- 夕食は進め控えめ・食物繊維たっぷり
- 夕方以降のカフェインに注意 エナジードリンクも!

体内時計

どうして体内時計が狂うのか スマート・ライフ・プロジェクト 睡眠調整ムービー URL: [リンク]

アンケート

設備内容の改善にさせていただきます。アンケートへの協力をお願いします。 URL: [リンク]



「産業保健スタッフによる健康情報発信」

今後の展望と産業保健の役割

当社では、統括産業医の指導のもと、会社の理念や方針に沿った「産業保健スタッフとしてのミッション・ビジョン」を考えながら活動を展開しています。健康経営という共通言語が社内浸透しつつある今、産業保健スタッフとしての専門性を生かし、全社の健康づくりに貢献していくことが求められています。

はたがや びより 日和

～JFPA相談室へようこそ～

暖かい日が差し込む相談室では、今日も相談員さんが電話やLINEに届く悩みに真摯に向き合っています。機関紙では、相談を受けながら日頃感じることを、考えることを思い思いに、毎月書き連ねていただいています。相談員の年齢や経験、経歴が違うからこそ、互いに刺激になっているのが、JFPA相談室の特長の一つ。

このリレーエッセーからもその様子を感じられるのではないのでしょうか。事例紹介に留まらない「はたがや日和」から目が離せません！

東京都不妊・不育ホットライン相談員
関口 淳子 (2024年11月1日掲載)

「相談者は結婚3年目の42歳。結婚直後から妊娠を始め、今は体外受精にもチャレンジしているが、自然妊娠後と体外受精後の計4回流産を繰り返している。自然妊娠もできるのに、自然妊娠もできないと自分では思っているとのこと。そこで不育を疑って専門病院で検査を受けてみたけれど、流産の原因になりそうな結果は出ず、不育の医師からは治療も必要ないと言われたそうです。「不妊治療の医師も流産を繰り返すことについて何も説明してくれない、流産した胎児の検査も何度かしたけれど、染色体異常ではなかったこともあった。次はPGT-A(着床前遺伝学的検査)も考えているが、自分は不妊なのか不育なのか分からなくなってきた。体外受

が多く、不妊であっても不育であっても結果的に何度も体外受精等をする方向になることなど、やりとりしながら今の不妊治療の現状としてお話ししました。

「やっぱりそうなんですね、先生が何も言ってくれないわけがやっぱり分かった」と納得されましたが、私は「今やれることは全てやって、ちゃんと考えていらいのか分からないのは、ものすごく辛いと思いますよ」とお伝えしました。「不妊と不育のどちらの選択肢を選ぶことはかなり考えていたが、どちらも結果は同じでも考えられるし、絶対に流産しない治療法があるわけではないことにも気付けた」とお話ししてくれました。

「さあ、あまりお母さまに相談したこともあったんですけど、そんな不自然なことをするから、流産ばかり考えないで」

「やばいこの業界(不妊人が少し笑いながら)に詳しい人に相談しないとダメだし、詳しくどこにも利害関係がない、どこにもつながっていない人に相談したかったことでした。私たち相談員は、不妊の経験者で、当事者としてお話を伺っていることをお伝えして終話になりました。相談者と気持ちや考えを共有し現状をお伝えする大切さを再認識しました。」

「30代社会人の男性から「先月アフターピルを服用し、その後出血があったが、また避妊に失敗したので再度飲んだが、まだ出血がない。何度も使うと効果が落ちるのだから」とLINEに相談



思春期・FP相談LINE/避妊のための
ピル&アフターピル相談室 相談員
土屋 啓子 (2024年12月1日掲載)

今年、神戸市にて開催された、久しぶりに一般演題を発表した「第43回日本思春期学会総会・学術集会」は、記録的な猛暑の記憶とともに私の心に残るものになりました。JFPAでは前年度の学会が終わる頃から、次の年度の夏にある日本思春期学会に向けて発表演題のテーマ探しが始まります。相談員の仲間と共に、「そういうこんな不妊不安」を主訴とした事例が増えたよね」「数

「今回注目したのは「妊娠不安」を主訴とした事例です。2023年度の相談実績578件のうち妊娠不安を主訴とした事例は男女合わせて122件ありました。精査していくと、「膈へのペニス挿入を伴わない」状況における妊娠不安の事例が散見されました。「膈へのペニスの挿入を伴わない」状況での妊娠不安の中には、緊急避妊の対象となり得るグレイゾーンの行為もあれば、あらかじめ正しい知識があれば全く不安を抱える必要のないケースもあり

思春期・FP相談LINE/避妊のための
ピル&アフターピル相談室 相談員
小野 文子 (2025年1月1日掲載)

20年以上のブランクから相談員として復帰して、1年余りが経ちました。相談の電話が鳴ると緊張し、相談LINEが入ると、「何歳の人かな?」「どんな相談?」と、したためられた文章の内容や、その後に隠れている文字にはなっていないことについて「?」「?」「?」と小首をかしげながら返事を考え、相談業務に従事しています。

「30代社会人の男性から「先月アフターピルを服用し、その後出血があったが、また避妊に失敗したので再度飲んだが、まだ出血がない。何度も使うと効果が落ちるのだから」とLINEに相談

「妊娠不安を主訴とした事例は男女合わせて122件ありました。精査していくと、「膈へのペニス挿入を伴わない」状況における妊娠不安の事例が散見されました。「膈へのペニスの挿入を伴わない」状況での妊娠不安の中には、緊急避妊の対象となり得るグレイゾーンの行為もあれば、あらかじめ正しい知識があれば全く不安を抱える必要のないケースもあり

「今回注目したのは「妊娠不安」を主訴とした事例です。2023年度の相談実績578件のうち妊娠不安を主訴とした事例は男女合わせて122件ありました。精査していくと、「膈へのペニス挿入を伴わない」状況における妊娠不安の事例が散見されました。「膈へのペニスの挿入を伴わない」状況での妊娠不安の中には、緊急避妊の対象となり得るグレイゾーンの行為もあれば、あらかじめ正しい知識があれば全く不安を抱える必要のないケースもあり

「妊娠不安を主訴とした事例は男女合わせて122件ありました。精査していくと、「膈へのペニス挿入を伴わない」状況における妊娠不安の事例が散見されました。「膈へのペニスの挿入を伴わない」状況での妊娠不安の中には、緊急避妊の対象となり得るグレイゾーンの行為もあれば、あらかじめ正しい知識があれば全く不安を抱える必要のないケースもあり

「妊娠不安を主訴とした事例は男女合わせて122件ありました。精査していくと、「膈へのペニス挿入を伴わない」状況における妊娠不安の事例が散見されました。「膈へのペニスの挿入を伴わない」状況での妊娠不安の中には、緊急避妊の対象となり得るグレイゾーンの行為もあれば、あらかじめ正しい知識があれば全く不安を抱える必要のないケースもあり

「妊娠不安を主訴とした事例は男女合わせて122件ありました。精査していくと、「膈へのペニス挿入を伴わない」状況における妊娠不安の事例が散見されました。「膈へのペニスの挿入を伴わない」状況での妊娠不安の中には、緊急避妊の対象となり得るグレイゾーンの行為もあれば、あらかじめ正しい知識があれば全く不安を抱える必要のないケースもあり



東京都不妊・不育ホットライン相談員
田中さとみ (2025年2月17日掲載)

「妊娠不安を主訴とした事例は男女合わせて122件ありました。精査していくと、「膈へのペニス挿入を伴わない」状況における妊娠不安の事例が散見されました。「膈へのペニスの挿入を伴わない」状況での妊娠不安の中には、緊急避妊の対象となり得るグレイゾーンの行為もあれば、あらかじめ正しい知識があれば全く不安を抱える必要のないケースもあり

「妊娠不安を主訴とした事例は男女合わせて122件ありました。精査していくと、「膈へのペニス挿入を伴わない」状況における妊娠不安の事例が散見されました。「膈へのペニスの挿入を伴わない」状況での妊娠不安の中には、緊急避妊の対象となり得るグレイゾーンの行為もあれば、あらかじめ正しい知識があれば全く不安を抱える必要のないケースもあり

「まさか私の娘・息子が不妊だと考えてもみなかった」

「子どもから不妊治療をやっていることを打ち明けられたが、何と言葉をかけていいかわからない」

「治療を援助しているが、どんな治療をしているのか聞くことができない」



「お母様は、お子様たちを見守ってあげてください。もしお子様が「話をしたい」と言う時には、静かに聞いてあげてください」とお伝えするしかありません。

廣瀬 和美

(2025年3月31日掲載)

私が相談員となったのは、2021年4月に思春期相談LINE/避妊のためのLINEに切り替わった年からでした。LINE相談の内容が、私たちが得意とする体に関する事で、たら、個別の性教育の場だと思いい、科学的根拠を踏まえてお答えしています。この4年間で私が最も考えさせられたのは親子関係の相談です。中学生から「私は勉強をしても成績が上がらず順位も下がってしまい、部活では練習を頑張っているつもりでもレギュラーになれません。お母さんは私の頑張りが見えないのでは？」と相談者に

「どうしても孫がほしい!!しかし子ども夫婦が不妊治療を受けようとしていない」など。そうして最後は、「私には何が出来るの?どうしたらいいの?」と仰います。そんな時には「お母様は、お子様たちを見守ってあげてください。もしお子様が「話をしたい」と言う時には、静かに聞いてあげてください」とお伝えするしかありません。

そんな中、あるお母様からの電話が全く異なる内容だったのが衝撃的でした。「娘から不妊治療の悩みを聞いていたけれど、あなたと私を責めてくるようになり、最近では攻撃的な言動がひどいので、娘の力になりたい気持ちがあるが会うのがとてもつらい。シングルマザーで人一倍頑張っているが、娘を育ててきたが、娘は娘なりに大きな寂しさやつらさを秘めて成長したようだ。最初は治療の悩みを聞いていただけだったが、娘がどんどん昔の気持ちを出して私を責めて「子どもができてほしい」とお伝えします。

と心に起こっている現状を客観的に伝えし、親に言えない背景に何かあるのか、とも思いますが、生理はナフキンも必要です、この先も来るもので、親に言わずに過ごすには限界があると思います。もしも先生に相談してみますか、勧めました。

「お母様は、お子様たちを見守ってあげてください。もしお子様が「話をしたい」と言う時には、静かに聞いてあげてください」とお伝えするしかありません。

東 亜紀

(2025年5月2日掲載)

小・中・高校生や大学に言つても何か恥ずかし

「陰部のかゆみが続いているが、病院に行くべきか分からない。親

「お母様は、お子様たちを見守ってあげてください。もしお子様が「話をしたい」と言う時には、静かに聞いてあげてください」とお伝えするしかありません。

丹野 充代

(2025年5月6日掲載)

不妊治療や流産の経験は、パートナーと支え合

「お母様は、お子様たちを見守ってあげてください。もしお子様が「話をしたい」と言う時には、静かに聞いてあげてください」とお伝えするしかありません。

「お母様は、お子様たちを見守ってあげてください。もしお子様が「話をしたい」と言う時には、静かに聞いてあげてください」とお伝えするしかありません。

「お母様は、お子様たちを見守ってあげてください。もしお子様が「話をしたい」と言う時には、静かに聞いてあげてください」とお伝えするしかありません。

「お母様は、お子様たちを見守ってあげてください。もしお子様が「話をしたい」と言う時には、静かに聞いてあげてください」とお伝えするしかありません。



土屋 啓子

(2025年10月1日掲載)

思春期・FP相談LINE/避妊のためのピル&アフターピル相談室 相談員

前身に引き続き「マスターベーション」を少し減らして「マスターベーション」に関する相談を見直し、その概要をまとめましたので、一部をここで紹介します。

2021～2023年に当協会へ寄せられたマスターベーションに関するLINE相談の中で、対象となった事例は男子147件、女子72件、概要の項目数はそれぞれ男子23項目、女子15項目に上り、多種多様な悩みの実態が見て取れました。

男子では「方法を問う」「回数・頻度やその是非を問う」「方法やおかずの是非を問う」というマスターベーションの方法そのものや、自身がすで行っている方法の是非を問う相談が多い傾向にあります。また、性欲の高まりによりマスターベーションを行う頻度が増えたことによる身体への影響を心配する声も多く挙がっていました。さらに、膣内射精障害の原因に繋がることで今日話題となっている床オナ・皮オナと言った推奨されない方法をすすで行っていることや、そのリスクをネットなどの情報で知った上で、改善したく

でも「推奨される方法ではうまくできない」という悩みも男子に特徴的でした。

女子では「方法の是非を問う」「身体への影響」「月経/妊娠との関係」を心配している項目が上位に挙がり、男子同様自身ですで行っている方法の是非を問う相談が最も高い割合を示しました。続いてマスターベーションの身体への影響、月経/妊娠との関係を心配する相談の割合が高く、痛みや出血など身体へのネガティブな影響を心配したり、知識さえあれば無用の心配であるはずの、月経や妊娠との関係を危惧してしま

マスターベーションは、自身の性欲コントロールだけでなく、自分の身体を知り、探検する性の楽しみ、行うことでリラックスできるなど多くのポジティブな側面を持ち合わせています。正しい知識とマナーを守った上で「自分の身体を研究しよう」というメッセージを、今後も伝えていきたいと思えます。

「マスターベーションの特集」に、相談員の立場



お知らせ

「これさえ見れば基本はOK!!」な講義動画集ができました。

その名も…

リプロバ

“リプロ”ダクティブ・ヘルス/ライツについて学べる“場” 略して「リプロバ」です

配信中の講義(全18回) ☆2026年12月31日まで

Table with 2 columns: 講義名 (Lecture Name) and 講師 (Instructor). It lists 18 lectures and their respective instructors.

無料公開です

- 1本10分程度の講義動画集
● インターネット上でいつでも、どこでも、何度でも視聴可能
● 新人研修にピッタリの内容
● ベテランの方の学び直しにも

視聴は本会HPから



※本会セミナー会員登録が必要となります
※無料公開しています。ただし、視聴の際の通信料等はご負担ください

その他の講義も続々と公開しております



令和7年度 健やか親子21全国大会 (母子保健家族計画全国大会)

被表彰者

令和7年度母子保健・家族計画功労者の表彰式が、11月28日(金)、こども家庭庁において執り行われます。本会会長表彰、健やか親子21内閣府特命大臣表彰の被表彰者は次の通りです(敬称略・氏名等公表可の方のみ掲載)。

一般社団法人 日本家族計画協会会長表彰

- 【個人】
- 青森県 富浦 一行
 - 岩手県 小館 千公
 - 宮城県 佐藤 真理子
 - 茨城県 綿引 寿栄
 - 栃木県 毛塚 裕子
 - 群馬県 田村 仁
 - 埼玉県 竹内 佳代子
 - 千葉県 安達 桃子
 - 富山県 脇 博樹
 - 石川県 田中 和子
 - 福井県 高橋 絹江
 - 長野県 伊藤 こず恵
- 静岡県 土屋 琴乃
- 愛知県 若原 靖典
- 滋賀県 中村 明美
- 京都府 吉田 教子
- 大阪府 濱田 かよ子
- 和歌山県 北野 尚美
- 島根県 金子 紀子
- 岡山県 阿部 由美
- 広島県 豊田 紳敬
- 山口県 江藤 美知子
- 徳島県 東條 由美子
- 愛媛県 新穂 サチ子
- 佐賀県 酒井 枝津子

長崎県 田添 美紀子

大分県 瀬戸 美香

宮崎県 西畑 久美子

鹿児島県 坂口 ちえみ

鹿嶋市 浜端 宏英

沖縄県 佐藤 陽子

千葉市 浅山 道子

横浜市 横山 由里

川崎市 山森 孝子

浜松市 安田 孝子

名古屋 鈴木 ひとみ

名古屋市 金子 哉子

神戸市 篠原 秀久

広島市 篠原 智子

横須賀市 岡安 智子

岡崎市 山森 紀美子

姫路市 太田 加代

松山市 菊岡 直子

健やか親子21 内閣府特命担当大臣表彰

●功労者表彰

【個人】

- 青森県 千歳 和哉
 - 岩手県 北館 里美
 - 岩手県 千葉 芳枝
 - 宮城県 板橋 由紀
 - 宮城県 本間 洋子
 - 栃木県 太田 由希子
 - 群馬県 重田 誠
 - 群馬県 伊藤 映子
 - 埼玉県 根橋 圭子
 - 埼玉県 高木 学
 - 埼玉県 小林 宏伸
 - 千葉県 米村 洋子
 - 千葉県 葉山 正陽
 - 神奈川県 葉山 正陽
 - 神奈川県 大山 学
 - 新潟県 渡部 初子
 - 富山県 寺崎 ふじこ
 - 石川県 和田 寿美恵
- 福井県 寺澤 由紀子
- 山梨県 小田切いのり
- 長野県 松葉 はるみ
- 岐阜県 加納 芳郎
- 静岡県 岡 利津子
- 愛知県 正橋 鉄夫
- 愛知県 江口 秀史
- 滋賀県 多賀 崇
- 滋賀県 渡邊 美也子
- 京都府 栗山 政憲
- 京都府 中村 由美子
- 兵庫県 中川 壮平
- 兵庫県 長井 順子
- 兵庫県 中山 正子
- 岡山県 辻 正子
- 岡山県 安藤 直美
- 広島県 永田 忠
- 山口県 三村 みのり
- 山口県 松井 須賀子

【団体】

- 徳島県 特定非営利活動法人 子育て支援ネットワーク とくしま
- 母子愛育会 杵築市山香愛育班
- 徳島県 赤尾 さく美
- 母子保健推進会議 蛸名 勝之
- 母子保健推進会議 長岡 美樹
- 日本家族計画協会 小橋 孝介
- 母子愛育会 島袋 富美子
- 沖縄県 運天 啓一
- 鹿嶋市 前田 夕エ子
- 鹿嶋市 南 武嗣
- 福岡県 黒川 美知子
- 福岡県 松永 伸二
- 徳島県 藤原 恭子

- 大分市 河野 明子
- 本部推薦 辻村 晃
- 本部推薦 江角 伸吾
- 本部推薦 竹原 健二
- 本部推薦 上田 豊
- 本部推薦 関口 淳子
- 本部推薦 木下 美貴
- 本部推薦 川村 百合
- 本部推薦 斎藤 環
- 新潟市 新潟市助産師会 (50人1団体)

●健やか親子表彰

【自治体・団体・企業】

- 母子愛育会 羽生市母子愛育会連合会
- 日本家族計画協会 点字印刷・出版雑草の会
- 最優秀賞 社会福祉法人麦の子会
- 自治体部門優秀賞 愛知県大府市
- 団体部門優秀賞 豊田市男性保育師連盟
- 企業部門優秀賞 三起商行株式会社 (ミキハウス) (48人8団体)

お知らせ

(一社)日本家族計画協会
受けている相談窓口です!

相談無料
避妊のための
ピル&アフターピル
相談室

受付時間 平日 10:00~16:00
(祝日・年末年始はお休み)

(03) 3460 4112
ヨイビニシ

EC(緊急避妊)・OC(経口避妊薬)服用に関するご相談はこちらにお電話ください。

※電話相談ではお名前を聞きませんが、相談は無料です。通話料のみを負担いただきます。
※一般社団法人日本家族計画協会の相談員が応答いたします。

男性もご相談いただけます
不妊・不育
ホットライン

2023年4月から番号が新しくなりました
03-6407-8270

毎週火曜日 10時~19時
毎月1回土曜日 10時~16時
(休日・年末年始はお休み)
*土曜日の場合は下記の電話番号にてご連絡下さい。

不妊で悩んだ経験のある相談員がお話を伺います。
当事者だからこそ、分かり合えることはたくさんあります。
家族や友人との関係など、不妊をきっかけにした悩みを
一人で抱えるのは辛いことですね。
まずは気軽に電話してみませんか?

card
https://www.fuushu.metro.tokyo.lg.jp/kodomo/sodan/h_sudan.html
不妊・不育に関する悩みについて、経験ある女性ピア(仲間)カウンセラーが相談をお受けします。

思春期の皆さんのためのLINE相談始めました!

こんなときはまず相談!
自分の体のことで不安があって保護者や先生、友達にも相談できずに悩んでいることがある。様子をみていていいのかわからない、お医者さんに診てもらったほうがいいのかわからないことがあるナド……。

JFPA 思春期・FP相談LINE

LINE ID @183xqhf5 @マークから始めるIDで検索するかQRコードを読み取ってください。

回答時間: 月~金/10:00~16:00 (祝祭日は休み)
質問には専門の相談員が、平日10時~16時の間に到着順に回答します。
秘密は守られますから安心して相談して下さいね!

こんな相談してもいいのかな?って迷ったときにLINEしてきて!

